

事務事業	9020	シーメイト子どもイベント開催事業	担当課 課長	福祉課 藤野 和博	担当係 担当者	福祉施設係 安川 繁典
計後 画期 体計 系画	施策	07 子どもの権利を守り、安全で健やかに成長できる まちをつくる	会計	1	一般会計	
			款	3	民生費	
			項	1	社会福祉費	
			目	5	総合福祉施設管理費	
			基本事業			
法令根拠条例等			個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 28年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返    H16 年度より開始 <input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)    年度～ 年度					

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 5月5日のこどもの日に「シーメイトこどもまつり」イベントを開催し、町内の高齢者と子どもの世代間交流の促進を図る。このイベントは、風車・竹とんぼ・押し花づくり、竹馬あそび、絵本の読み聞かせ、ミニステージ等のコーナーを設け、主に高齢者のボランティア講師が子どもたちと一緒に遊ぶことを通じて交流を図っていくものである。	<input type="checkbox"/> 2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)
【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) イベントの企画、ボランティア講師への講師依頼、ポスターやチラシの作成・掲示、当日使用するツールの購入手配、当日の会場・放送設備の設営及び来場者対応(シーメイト倶楽部会員の協力のもと)、後片付け。	消耗品費 15 千円
	千円
	千円
	千円
主な事業費の内訳	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 28年度に行った主な活動(※箇条書きで記入) 「シーメイトこどもまつり2016」を5月5日に開催。全会場でのべ約550人の子ども(同行の保護者を除く)の来場があった。 竹トンボや竹馬等の遊び 羽子板やおはじき等の「昔の遊び」体験も実施した。	⇒	④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)					
		指標数値					
		名称	単位	27年度	28年度	29年度	
		ア イベント実施回数	回	1	1	1 (見込)	
		イ				(見込)	
		ウ				(見込)	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) 町民	⇒	⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)					
		指標数値					
		名称	単位	27年度	28年度	29年度	
		ア 人口	人	45,593	45,662	45,662 (見込)	
		イ				(見込)	
		ウ				(見込)	
③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたいのか) 高齢者世代のこども遊びを通じて、子どもたちにもものづくりや身体を使って遊ぶことの良さを伝え、子どもたちが高齢者の知識や経験を伝承していけるようにする。	⇒	⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)					
		指標数値					
		名称	単位	27年度	28年度	29年度	
		ア 参加者数	人	目標	500	550	500
				実績	550	470	
		イ		目標			
				実績			
		ウ		目標			
				実績			
		エ		目標			
実績							
オ		目標					
		実績					

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(千円)		27年度 (決算値)	28年度 (当初予算)	28年度 (決算値)	29年度 (当初予算)	30年度 (計画)	31年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債等						
		受益者負担等						
		一般財源	15	15	15	15		
		合計(A)	15	15	15	15	0	0
		(内臨時・嘱託職員人件費)						
		正職員人件費[按分](B)	389	430	333	302		
	トータルコスト(A)+(B)	404	445	348	317	0	0	

# 事務事業評価表(事業実施年度:平成28年度)

## (3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか?いつ頃どんな経緯で開始されましたか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか?	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか?(誰からの意見か明記)
平成16年4月の開館以来、なかよしパークやにじいろポケットを中心に多くの子どもたちの来館が見られ、日頃交流が疎遠になりつつある高齢者と子どもたちのふれあいの場をつくってほしいとの住民の声に添えて、平成16年5月5日に「シーメイトこどもまつり」を開催し、以後毎年開催されている。	子どもが増加している当町の現状を反映して、23年度より「シーメイト子どもイベント開催事業」として予算化。町内のボランティア団体の協力も得られ、毎年参加する子どもの数が増えている。	(参加者) 子どもたちが毎年楽しみにしているイベントなので、今後も継続して開催してほしいとの要望がある。

## (4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		28年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成28年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善  <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	事前周知の徹底やシーメイト倶楽部、地域ボランティアの協力で多彩なイベント内容を図り、参加者・来場者の一層の増加を図っていくことができると考えられる。	<input checked="" type="checkbox"/> 記述どおり実施できた (コメント必要ありません)  <input type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	

## 2 評価(SEE)及び全体総括の部 \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

### (1) 評価

	評価の理由
<b>目的妥当性評価</b> ① 上位施策への貢献度は大きいですか? ※総合計画を参照してください <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→)	子どもたちが高齢者との遊びを通じて、先人の知恵や経験を学ぶとともに高齢者への尊敬や思いやりの気持ちを持つことができる。
② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか? (事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか?) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	本イベントは公共施設の主催であることから、一部の工作材料費を除いて講師や場内整理等のすべてをボランティア活動に依存し、わずかな費用で多くの子どもや保護者を対象に実施できている。
<b>有効性評価</b> ③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がある(理由→) <input type="checkbox"/> 成果向上余地がない(理由→)	事前周知の徹底やイベント内容の多彩化等により、参加者・来場者の一層の増加を図っていくことができると考えられる。
<b>評価</b> ④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	子どもだけや高齢者だけのイベントは数多く存在するが、子どもと高齢者が交流を深めていくイベントは少ないため、今後も継続していく必要があると考えられる。
<b>効率性評価</b> ⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか?(広域連携や民間委託等の導入など) <input type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input checked="" type="checkbox"/> ない(理由→)	スタッフは、ボランティアスタッフに依存しているため、事業費負担は少額であり削減の余地はない。

### (2) 28年度を振り返って(全体総括・反省点)

シーメイト倶楽部や地域ボランティアの協力を得ることができ、地域住民と子どもたちが交流する貴重な機会となった。シーメイトこどもまつりは、平成16年の開館直後から毎年開催されてきた当施設にとっての伝統的なイベントであり、年々子どもたちの参加数が増加し、高齢者・子どもの保護者・子どもと三世代が一緒に遊びや工作等を通じて、ふれあい語り合うことができる貴重な場となっており、今後も継続して実施していく必要があると思われる。

事前周知の徹底やシーメイト倶楽部、地域ボランティアの協力で多彩なイベント内容を図り、参加者・来場者の一層の増加を図っていくことができると考えられる。

## 3 今後の方向性(29年度以降の計画と30年度予算への反映)(PLAN)

<b>(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)</b> <input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→  <input type="checkbox"/> 事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	<b>(2) 平成29年度以降に取り組む内容と期待される効果</b> 事前周知の徹底やシーメイト倶楽部、地域ボランティアの協力で多彩なイベント内容を図り、参加者・来場者の一層の増加を図っていくことができると考えられる。
---	--